

## 教授： 須釜 淳子

Junko Sugama

E-mail : junkosgm@mhs.mp.kanazawa-u.ac.jp

【研究分野】 看護学、健康・スポーツ科学

【キーワード】 看護工学、臨床研究、加齢・老化



## 研究内容

### 【背景・目的】

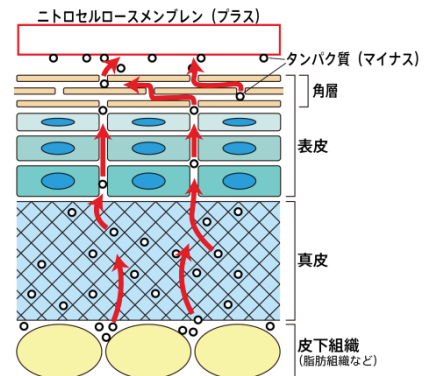
私たちの身体にも、生きていく力、自然治癒力が備わっており、この力が十分発揮されるような日常生活を過ごすことが大切です。超高齢化に伴い、生きていく力、自然治癒力が弱まってくると、病気ではないが様々な身体機能の衰えに伴う症状や生活に不都合が生じるようになります。その時々生きていく力を最大限に生かし、これらに適応した生活をおくる必要がありますが、適応過程を支援する科学は十分とは言えません。

### 【概要】

- ・ひとの生きる力の回復・維持・向上のためのヘルスケア学の構築を目標とし、保健学および関連する学問分野との分野融合型研究を推進します。具体的には私たちと共生する常在菌(主に、皮膚および口腔・鼻腔粘膜)が起こす感染症に焦点をあて、発症および重症化の機序を解明します。また、対象者の健康状況、日常生活行動に関する調査を行い、発症および重症化の過程に関連する発生要因、悪化要因を解明します。
- ・さらに、感染症の症状として現れる多彩な症状(痒み、むくみ、痛み、臭い等)によって引き起こされるウエルネス障害の実態の解明、障害の緩和・改善のための研究を行います。これらの過程において必要となる、組織が脆弱な対象者に対する非侵襲的で臨床実践的な評価技術の開発も行います。
- ・超音波診断装置等を用いたイメージング、スキンプロテイング等を用いた分子生物学的解析をもちいて研究を進めます。

### 【研究の特徴・コンセプト・理念】

- 一基礎研究、臨床研究を円環する研究を行います。
- 一高度な医療技術を簡便・低侵襲的技術へと転換し、ヘルスケア学を基盤としたセルフケア支援技術をめざします。



最近の論文発表等:

- 1.Ogai K, Matsumoto M, Aoki M, Minematsu T, Kitamura K, Kobayashi M, Sanada H, Sugama J: Increased level of tumor necrosis factor-alpha (TNF- $\alpha$ ) on the skin of Japanese obese males: measured by quantitative skin blotting. Int J Cosmet Sci. 2016 Oct; 38(5):462-9. doi: 10.1111/ics.12312.
- 2.Matsumoto M, Ibuki A, Minematsu T, Sugama J, et al: Structural changes in dermal collagen and oxidative stress levels in the skin of Japanese overweight males. Int J Cosmet Sci. 2014 Oct;36(5):477-84.

### <共同研究・連携の方向性など>

- 皮膚・口腔粘膜の健康状態の解析、皮膚常在菌の解析に関する研究を行う研究者との連携・共同
- 細胞間脂質の解析技術をもつ研究者との連携・共同